

第9章 石川県内の学校での環境保全活動の実践例

以下、県内の学校における環境保全活動の実践例を示します。これ以外にも各学校で様々な取組が実践されています。

省エネナビ(電力使用料金表示器)を利用した取組

羽咋市立羽咋小学校では、校内に電力使用量を金額で表示する省エネナビを設置し、児童と教職員が協力して省エネルギーに取り組んでいます。

省エネナビを1～6年生の教室フロア及び職員室に合計7台設置し、児童会が毎月末に電力使用量を測定し、校内にグラフで掲示しています。さらに、児童会が隔月で、全校集会で省エネを呼びかけています。

省エネナビで電力使用量を測定し、それを分かりやすい金額で提示したことで、児童にも理解しやすく、節電の取組促進につながっています。

省エネナビで消費電力を測定



目標値の設定 電力使用量10%削減

全校共通の取組方法の決定

教室を出るときは、必ず消灯する。

教室にある電気製品は、使うときだけコンセントを入れる。

明るい日は、廊下を消灯する。

明るい日は、給食・掃除時消灯する。

明るい日は、授業中窓側の蛍光灯を消灯する。

省エネナビの詳細については(財)省エネルギーセンターホームページ (<http://www.eccj.or.jp/navi/index.html>) 参照

校区内の清掃活動に取り組む

津幡町立井上小学校では、「井上クリーン作戦」と題し、校区内のごみ拾いを実践しています。学年ごとに校区を分担し、地域の人と協力して、担当地域のごみを拾い、分別し、後始末をします。さらに、児童たちはクリーン作戦を実践しての感想を日記にまとめ、学校集会で発表し、今後の活動についても話し合います。

活動を通じ、ごみについての認識を深め、自分たちの地区をきれいにしようとする気持ちを育み、さらには、自分の生活を見直し、自分でできることに進んで取り組もうとする実践力を養うことを目指しています。



自然エネルギーの活用

小松市立丸内中学校では、環境保全活動のシンボルとして校舎屋上に風力と太陽光を併用した発電システムを設置しています（最大発電量400Wの風力発電機2基、最大発電量55Wの太陽光発電機2基）。全教室から見える位置に電光掲示板を取り付け、風力、太陽光の発電量や風向、風速、気温などを表示し、さらに発電した電力は、夕方に校内のモニュメント「希望の鐘」をライトアップするのに使用します。

生徒は毎日3回、発電量などを記録し、データを校内に掲示し、生徒集会などで、発電した電力が、蛍光灯何本を点灯させるかなど具体例を発表しています。

自然エネルギーに身近に触れることで環境意識を高め、生徒が環境問題に主体的に取り組んでいくことを目指しています。



自然のビオトープ

珠洲市立本小学校では、児童による自然のビオトープ探しを実践しています。学校の周りや地域には、ビオトープや生命の場がたくさんあることに気づき、自然環境と生き物の関係に興味や関心を高めていくことをねらいとしています。また、講師を招き、ビオトープに関する学習も実施しています。

児童は、活動を通じ、ビオトープとは人工的なものだけでなく、自然の中に存在することに気づき、生き物と環境とのつながりに関心を示すようになっていきます。また、自分たちの地域の自然環境やよさを、活動を通じて実感するようにもなりました。

【自然のビオトープ探し】

学校の周りや地域を探検し、自然のビオトープを探す。

自然のビオトープに棲んでいる生き物や周りの植物を調べる。

生息する生き物が場所によって違うことに気づく。

昔と今の生き物の変化を知る。(家庭や地域の人に聞く)



生徒会美化委員会を中心とした「リサイクル・省エネ活動」の実践

県立金沢西高等学校では、生徒会美化委員会が中心となって、校内の紙・食品容器包装材(プラスチック)のリサイクル量の把握、電力・上水道・トイレトペーパーの使用量の把握や、卒業生へ制服のリサイクルを呼びかけるなどの活動を実践しています。

その成果は文化祭の展示コーナーで具体的なデータとして報告し、生徒一人ひとりの環境に対する意識の高揚を図っています。

また、生徒間の話し合いの結果、文化祭での模擬店用の食器として、従来のプラスチック製の使い捨て皿と割り箸の使用をやめ、陶器製の食器を新規に購入し、文化祭当日は、移動食器洗浄車(ピカピカ号)を使用しました。その結果、ごみの排出量を削減でき、生徒のごみ削減意識の高揚につながっています。

報告例(平成13年度)

[紙のリサイクル量] 3,281kg(4月～9月20日現在)

[食品容器包装材のリサイクル量] 202kg(4月～8月)

[電力使用量] 昨年度(4月～7月) 107,684kwh

今年度(4月～7月) 110,922kwh

コンピュータ及びエアコンの新規導入にもかかわらず、昨年並の使用量に抑えた。

[水道水使用量] 3,800m³(4月～7月)

生徒一人1ヶ月平均18 のバケツで約55杯分を使用

[トイレトペーパー使用量] 90m巻き2,000個(4月～7月)

生徒一人1ヶ月平均45m使用

[制服リサイクル] 卒業生に制服、体育着、柔道着のリサイクルを呼びかける

紙のリサイクル活動

